

エコライフDAY&WEEK埼玉

2024(冬)

～ストップ!地球温暖化～



1 エコライフDAY&WEEK2024(冬)結果

参加した人数 **2,581**人

※小学生559人、中学生102人、特別支援学校生1人と、そのご家族及び教職員など多くの方が参加しています!

削減した二酸化炭素の量 約 **14.5**トン

※1人当たりの削減量は約5.6kgです。

ブナの木:約1,318本
スギの木:約1,035本
の一年間に吸収する
二酸化炭素量に相当

※1年間に吸収する二酸化炭素量は、ブナの木1本が約11kg(独立行政法人森林総合研究所調べ)、スギの木1本が約14kg(林野庁HP)として換算しています。
※2023年(夏)より一週間単位の取組を集計に合算した為、二酸化炭素の削減量が例年に比べ大幅に増加しています。

2 集計結果

区分	参加した人数	削減した二酸化炭素量
小学校	1,876人	9,904kg
中学校	312人	2,192kg
特別支援学校	3人	24kg
個人での参加等	390人	2,376kg
合計	2,581人	14,496kg

※小・中・特別支援学校の参加した人数は、家族・教職員も含まれます。

※構成表の値は、小数点以下を四捨五入して計算しています。

3 エコライフ（冬）の推移

実施年	参加した人数	削減した 二酸化炭素量	1人当たり 削減量
2025	2,581人	14,496kg	5.6kg
2024	1,831人	7,798kg	4.3kg
2023	2,990人	12,325kg	4.1kg
2022	3,622人	3,044kg	0.8kg
2021	4,847人	4,838kg	1.0kg

※2021～2022年度は1日間の取組、2023年度から1週間の取組を合算

4 参加者の感想・工夫点など

《小学生》

- プラスチックのスプーンやフォークをもらったり、使ったりするのを控えた。
- できるだけ暖房を使わないで、暖かい服を着た。
- エコライフは生活にとっても重要な事だとこの取組みを通してよくわかりました。
- 「宅配は1回で受け取った」の項目で、そんな少しのことでも二酸化炭素の排出量を減らせることを初めて知ったので驚きました。
- 二酸化炭素を減らすと地球温暖化をとめられるかもしれないから「エコライフ」はやったほうがいいと思った。

《中学生・高校生・一般》

- 使用している部屋のみで、小さい加湿器を使いました。
- 普段から取り組んでいるものが多かったです。自動車は結構なCO₂が出るので控えめに利用したいと思います。
- これからの生活でもエコライフの活動を心がけていきたいと思いました。
- 文化的で便利な生活になり有難い限りですが、それに慣れてしまっている自分を反省しないととも思う。

**この取組をきっかけに、環境にも家計にもやさしい
エコライフを続けていきましょう！**